

令和元年度(2019年度)

管理事業名	図書館事業				総合計画の体系	大綱 4 政策 4 施策 2	子育て・学び 生涯にわたり学べるまちづくり 生涯学習環境の整備
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 10	教育費	(項) 5	社会教育費	(目) 4	社会教育費
部局名	地域教育部	予算執行所属	中央図書館				
予算大事業名 図書館事業	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名 (款)教育費(項)社会教育費(目)仮称)健都ライブラリー建設費 図書館事業						
事業の目的と概要 図書館法第2条に基づき図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション、視聴覚教育等に資することを目的とします。 中央図書館と6つの地域館と2つの分室で事業を実施しています。また、中央図書館には自動車文庫1台を配備し、図書館から離れた地域に月1回巡回し事業を実施しています。多様化する市民一人一人の生涯学習を支援し、教養や文化に資することにより教育活動の充実を図ります。							

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	成果指標の定義
貸出点数	点	3,606,660	3,604,632	3,294,311	図書館で貸出された資料の点数 (個人貸出、団体貸出・広域貸出を含む)
来館者数 []内は延貸出利用者数	人	1,958,047 [919,121]	1,868,375 [921,866]	1,599,507 [854,381]	市内の図書館における来館者数 (ただし、北千里分室及び山田分室は延貸出利用者数)
成果の説明	「吹田市立図書館基本構想」を策定し、計画を実施しています。 平成27年度には、ICタグ導入・システム更新をし、北千里分室・山田分室を除く7つの図書館で来館者数が把握できるようになり、貸出だけでなく、すべての図書館サービスの成果が把握できるようになりました。 令和元年度は、中央図書館耐震補強等改修工事による長期休館の影響から、貸出点数及び来館者数が減少となりました。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

勘定科目	平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
経常収入				
国庫支出金(経常費用充当)	228	244	205	△39
府支出金(経常費用充当)	10,514	122	35,611	35,489
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	1,904	1,749	1,412	△337
経常収入 小計(a)	12,646	2,115	37,228	35,113
給与関係費	463,443	462,915	444,981	△17,934
物件費	498,360	462,866	503,416	40,530
維持補修費	3,802	7,181	3,407	△3,774
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	12,930	12,948	12,704	△243
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	137,116	137,089	135,415	△1,674
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	29,449	30,694	29,644	△1,050
退職手当引当金繰入額	34,968	24,897	738	△24,159
支払利息	18,696	16,868	15,069	△1,799
その他	48,039	36,190	36,480	290
経常費用 小計(b)	1,246,803	1,191,669	1,181,855	△9,814
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△1,234,158	△1,189,554	△1,144,627	44,927
特別収入				
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	4,979	5,128	2,859	△2,269
特別収入 小計(d)	4,979	5,128	2,859	△2,269
特別費用				
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	4,372	3,266	4,249	983
特別支出 小計(e)	4,372	3,266	4,249	983
特別収支差額(d)-(e)=(f)	607	1,862	△1,390	△3,252
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△1,233,551	△1,187,692	△1,146,017	41,675
一般財源充当額	1,294,946	1,295,772	1,391,000	95,228
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	61,395	108,080	244,982	136,903

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
府支出金 (経常費用充当)	35,489千円増のうち、図書館コンピュータシステムにおける大阪府市町村振興補助金35,500千円等
給与関係費	17,934千円減のうち、中央図書館耐震補強等工事による休館のため、賃金13,678千円減等
物件費	40,530千円増のうち、中央図書館耐震補強等工事に係る事務所等移転委託料 22,767千円、工事監理委託料5,542千円、(仮称)健都ライブラリー整備費 工事監理委託料 16,362千円等

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	12,646	2,013	37,173	35,161
行政サービス活動支出	1,057,651	1,025,198	1,037,085	11,887
行政サービス活動収支差額	△1,045,006	△1,023,185	△999,911	23,274
投資活動収入	1,361	1,780	-	△1,780
投資活動支出	63,655	116,188	580,335	464,147
投資活動収支差額	△62,294	△114,408	△580,335	△465,927
財務活動収入	-	30,612	379,200	348,588
財務活動支出	187,646	188,791	189,953	1,162
財務活動収支差額	△187,646	△158,179	189,247	347,425
収支差額 合計	△1,294,946	△1,295,772	△1,391,000	△95,228
一般財源充当額	1,294,946	1,295,772	1,391,000	95,228
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	<投資活動支出>(仮称)健都ライブラリー整備、中央図書館耐震工事経費及び閲覧用図書の購入 <財務活動収入>地方債借入
----------	---

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
貸出1点あたりコスト	平成29年度	3,606,660 点	346 円	資料の貸出1点あたり359円のコストがかかっており、前年度に比べ28円のコスト増については、中央図書館耐震補強等改修工事及び(仮称)健都ライブラリー整備関係費の経費が令和元年度は多くなったためです。
	平成30年度	3,604,632 点	331 円	
	令和元年度	3,294,311 点	359 円	
来館者1人あたりコスト	平成29年度	1,958,047 人	637 円	来館者1人あたり739円のコストがかかっています。
	平成30年度	1,868,375 人	638 円	
	令和元年度	1,599,507 人	739 円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成30年度末 A	令和元年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度末 A	令和元年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	220,647	209,779	△10,868
未収金	-	30	30	地方債	89,464	90,668	1,204
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	30,694	29,644	△1,050
徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	66,129	55,108	△11,022
有形固定資産	2,756,032	3,145,191	389,160	その他流動負債	34,360	34,360	-
土地	750,514	750,514	-	固定負債	1,271,686	1,444,675	172,989
建物・工作物	1,831,755	1,762,842	△68,913	地方債	490,176	778,708	288,532
リース資産	121,237	55,108	△66,129	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	52,527	576,728	524,201	退職手当引当金	314,079	288,004	△26,075
無形固定資産	1,459	1,459	-	リース債務	55,108	-	△55,108
有形固定資産	-	-	-	その他固定負債	412,323	377,963	△34,360
土地	-	-	-	負債の部合計	1,492,333	1,654,454	162,121
建物・工作物	-	-	-	純資産	3,485,831	3,730,813	244,982
建設仮勘定	-	-	-	負債及び純資産の部合計	4,978,164	5,385,267	407,104
重要物品	18,610	18,237	△373				
図書館資料	2,202,063	2,220,350	18,287				
投資その他の資産	-	-	-				
出資金	-	-	-				
長期貸付金	-	-	-				
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	4,978,164	5,385,267	407,104				

Ⅲ 財務構造分析

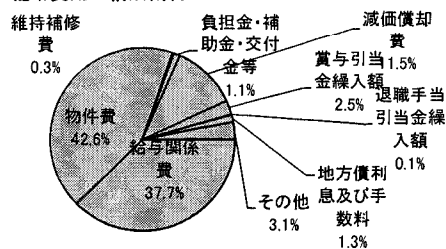
▼人にかかるコストの内訳

事業従事人数	常勤・再任用 月平均	非常勤 月平均	臨時雇用員 年間従事日数	審議会委員等 実人数
	46.25 人	26 人	1,294 日	15 人
給与関係費等	368,801 千円	94,541 千円	11,803 千円	218 千円
内、時間外勤務手当	5,489 千円			
				合計(千円) 475,363

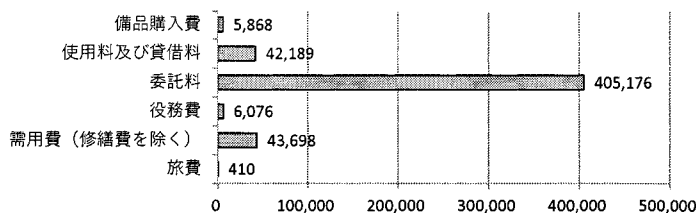
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
建物・工作物	図書館建物の減価償却による68,913千円の減
リース資産	図書館システムのリース資産に係る債務の返済により66,129千円の減
建設仮勘定	(仮称)健都ライブラリー整備費及び中央図書館耐震工事関係費により524,201千円の増

▼経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▼施設の概況

施設の名称	吹田市中央図書館ほか8施設
取得年月日	昭和46年(1971年)10月1日ほか
建物・工作物の取得価額	3,052,817 千円
建物・工作物の減価償却累計額	1,289,975 千円
利用料金収入	千円

▼分析指標

分析指標	年度	(単位:%)			
		平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B	差 B-A
施設維持補修費比率		0.1	0.2	0.1	△ 0.1
施設老朽化比率		37.7	40.0	42.3	2.3
受益者負担比率		-	-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		98.9	97.4	77.0	△ 20.4
経常費用対公共資産比率		40.8	39.0	38.7	△ 0.3

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は57.0%】

Ⅳ 総括

▼分析結果の説明

事業にかかるコスト全体の42%が物件費で、そのうち委託料が80%を占めています。委託料の約6割は人件費に相当する窓口等業務委託料で、図書館の人件費と合わせると、経常費用59%が人的経費となります。市内の図書館の施設老朽化率は市保有施設全体と比べて42.3%と低い数値ですが、中央図書館は97%と高くなっています。国や府からの補助金以外の収入として、営業者から支払われる駐車場などの行政財産使用料(861千円)やパナー広告などの広告料収入(18千円)など一部収入がありますが、97%が税金などの一般財源でまかなわれている事業です。

▼分析結果を踏まえた事業の課題

事業コストのほとんどが窓口等業務委託料を含む人的経費です。320万点を超える貸出に係る業務量及び読書活動推進に係る業務、資料の調査相談など、図書館サービスに必要な経費であると判断しています。平成27年度にICタグ関連機器を導入したことで、貸出点数が伸び、図書館システム更新の効果が表れていますが、令和元年度は中央図書館耐震補強工事による長期休館の影響から減少となりました。引き続き、補助金活用や総合福祉会館で臨時窓口を開設し、事務所は普通財産を活用するなど、少ない経費で図書館サービスを維持することを課題とし、令和2年度開館いたします。また、施設整備関係につきましては、健都ライブラリーは、令和2年度に開館するため、整備及び準備業務を進めております。北千里分室については、「北千里小学校跡地複合施設建設整備基本計画」をまとめ、狭あい及び老朽化を解消するため、令和4年度開館を目指し、整備を進めています。収入については、図書館法第17条で入館料その他図書資料の利用に対するいかなる対面も徴収してはならないとされており、基本的に無料の施設であるためほとんどありませんが、一般財源を少しでも減らせるように、ホームページのパナーや貸出レシートへの掲載に係る広告収入等、歳入の確保に努めており、今後も引き続きコスト削減を検討していきます。